

定例会市議会市政一般報告…… 1～11面
15万人のひろば……12～13面
おしらせ・7月の相談日……16～17面
7月の休日当番医……20面

平成23年第2回定例会市議会市政一般報告

東日本大震災の被害と復旧の状況や

放射線問題への対応など報告

平成23年第2回定例会市議会、根本市長は6月9日、3月11日に発生した東日本大震災の被害と復旧の状況や放射線問題への対応、また、市民参加をさらに進める委員公募の推進と住民投票条例案のほかに、皆さんにお約束した政策の柱の進捗状況などを報告しました。本号ではその概要をお知らせします。

はじめに東日本大震災について申し上げます。3月11日の大震災から3か月近くが経過しました。お亡くなりになりました方々に対しお悔やみを申し上げますと同時に、被災された全ての皆様にご心からお見舞い申し上げます。また、被災者への市民の皆様や企業からの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

野田市の被害と対応状況

当日野田市でも震度5強を記録し、その後も震度4の余震は、3月19日に1回、4月11日から16日までの間にも4回観測されました。最初の地震により発生した

被害で判明していた部分は、3月議会最終日に報告しましたが、その後判明したものと度重なる余震で発生した被害も含め現在までの対応状況を申し上げます。

◆公共施設の状態 安全確保の観点から緊急性の高い道路などの応急復旧や落下物の処理、学校の施設、設備の修繕などは震災直後から22年度予算費などで対応し、保育所の施設、設備や文化会館の天井、スクリーンの修繕などは、22年度補正予算で措置しました。

さらに、23年度一般会計補正予算を2回にわたり専決処分しました。まず、4月15日に市役所庁舎や議場の天井修繕、保健

センターの空調機、斎場、道路などの復旧工事に加え、同報系防災無線システムの実施設計費用を専決処分しました。

その後、中央小学校の体育館の被害が新たに判明し、災害復旧と耐震補強を同時施工する設計業務委託費と新たな損傷拡大を防止する応急処理費を、さらに4月11日の余震で損傷した乳児保育所のブロック塀の工事費を5月10日に専決処分しました。

なお、中央小体育館の改修費は来年5月完成を目前に9月議会に補正予算を提案する予定で、学校耐震補強事業費の増額と震災で破損した施設修繕の災害復旧費を計上した一般会計補正予算を今議会に提案しています。

◆民間の住宅被害 液状化で被害を受けた住宅は5月2日に国の被害認定基準の見直しが行われ、液状化の建物被害を確認している6棟の再調査を行った結果、新たに3棟の半壊認定を行い、すでに認定されていた1棟を含め4棟となり、さらに液状化で傾斜した1棟は、大規模半壊となりました。

これらの建物は、被災者再建支援法と県の補助制度で支援金が支払われ今議会に提案している一般会計補正予算に計上しています。また、瓦の落下、外壁の損傷などの一部破損が6月1日現在70棟で、今後何らかの形で見舞金を検討したいと考えています。

◆計画停電と今後の節電 3月14日以降実施された計画停電は、流山方面から送電される江戸川病院付近の山崎地区約千世帯で2回の停電があり、その後、4月に入り当面の需給見通しが立つ

（2面につづく）



学校や保育所などで放射線を測定

※今号の市報は、東日本大震災の影響で紙の入手が困難なため、これまでと異なる紙を使用しています